

QUESTION

6月定例議会では、7日5名、8日2名の議員が一般質問を行いました。
質問方式は一問一答方式で、議員の持ち時間は1人30分です。

町の収益事業への参加は慎重に

町長

商売に乗り出すべきだと思う



櫻井盛生 議員

問 町づくりは、企業誘致や国道県道沿い等の優良地の解放・町内の観光資源である新田原古墳・湖水ヶ池・観音山・富田浜等の整備や農業生産物を活用した六次産業化の推進等で町づくりをすることが必要だと思われる。

答 今回のまちづくり事業は、人口減少や地方の生き残りを図るための事業だと実施を前提に説明会をされている。町が商売に手を出し失敗すると大変になる。維持管理費も2億6千万円かかり、利益が出ないと町負担が増加する。慎重には慎重の上判断する必要があるのではないかと。これからは町が商売に乗り出すべきだと



小中学生に対してコミュニティバスの無料化の実現を

思っている。これまでのやり方でなく企業感覚を持った活動が大事。施設全体の中身を魅力的な内容に出来るように今後、検討する。事業費は、予算の範囲内に収まるように検討されており、これ以上支出のないような計画としている。維持費も一体的に管理委託するので数千万円の町負担で運営出来ると考えている。

問 小中学生に対して
答 コミュニティバスの無料化は関係機関との会議に付することが必要であり、困難であるが、別な方法で教育委員会と今後、進めて行きたいと考えている。

町づくり、何年で完成

町長

相当な期間を要する



吉田貴行 議員

問 コンタ見直しについて、国の説明の内容は。また、待機世帯等の現状はどうなっているのか。

答 現在の区域のもとで、防音工事の待機世帯の早期解消を図る。告示後住宅については、待機世帯解消後に騒音状況などを勘案し、相談させていただく。騒音区域の見直しについては、地元の声によく耳を傾け、丁寧に対応



航空自衛隊新田原基地

していくとのことでした。防音工事の待機世帯は全体で630世帯、町内で240世帯、空調機の取替えの待機世帯は町内で360世帯、建具が650世帯となっています。

問 まちづくり事業の目的、また、この事業は何年で完成すると考えているのか。
答 町内にある新田原基地を含む多彩な地域資源を効果的に活用し「強い地域経済」をつくることを目指すものです。この事業は防衛省補助事業として実施するもので、国の予算確保の状況が大きく影響し、事業規模から相当な期間を要するものと思われる。
問 就学援助について、国が3月31日付で出した通知の内容は。
答 「新入学児童生徒学用品費等」の予算単価及び国庫補助限度単価の見直しと、援助を必要とする時期に速やかな支給が行われるよう国の「補助金交付要綱」の一部改正を行うというものです。

白紙撤回は二市三町の合意

町長

第一種区域の大幅な縮小の為



丹 邦敏 議員

問 新田神社周辺道路（竹淵地区）の整備について、町道に編入して整備は出来ないか。

答 生活道路を、町道に編入するには基準があるので、それに合わせて行うことになる。

問 弓道場の整備に防衛予算の活用は可能であるのか伺う。



竹淵地区の生活道路

答 防衛予算は、今までもスポーツ施設に活用されている。

問 騒音移転跡地に、まちづくり事業計画の核・拠点とする考えを伺う。

答 防衛省の補助事業を活用し、新田原基地周辺財産を有効活用するとともに、集客のための交通便利性等を考慮した。

問 航空機騒音二種区域の移転は、なぜ実施されているのか伺う。

答 二種区域については、移転申し出があれば、国が補償することになっている。

問 ホテル、宿泊施設の堅固な建物は、補助事業となるのか。また土地は貸してもらえるのか。堅固な建物とは、どんな建物ですか。

答 補助対象事業として捉えられるかどうかとは切り離して、施設については、ある程度は国に認めてもらって

いる。堅固な建物というのがちよつとわからない。

問 騒音コンター見直し白紙撤回となったが、町長は、国の示した告示案の内容を、確認しているのか。

答 こんな内容の説明は聞けないと、説明を受けることを拒否した。騒音コンターを縮小する案を、国が出したのかという理由や調査内容も知らない。

一向にうまくいかない自衛隊官舎

町長

官舎居住を基地に要望



吉田憲市 議員

問 津波避難タワーの現状と今後の対応について

答 横江は、平成28年10月に実施した宮崎県

総合防災訓練時に、五反田は、今年4月施設の説明と併せて地元住民の方々に参加いただき、避難訓練を実施しました。日頃からの施設活用は、今後も地元における避難訓練などに活用するつもりです。

問 富田浜入り江の護

岸整備と係船場の改修について

答 係船場については、平成26年度から改修を行い、平成30年度には完了する予定となっている。護岸については、高鍋土木事務所及び宮崎県中部港湾事務所の管理区域で、ブロック等による護岸の設置については、県に要望を行っていきます。

問 自衛隊官舎の空室が93室（2月1日現在）あるが、今後の対応は。

答 自衛隊官舎の空室については、引き続き隊員の官舎居住を基地に要望していきます。

問 口蹄疫の防疫対策について

答 口蹄疫等の家畜伝染病は、国際的な人や物の往来増加で、いつでも発生する可能性があるという前提に立つ必要があります。防疫で最も重要なことは、「水際対策」、「家畜農家や関係者の防疫対策」、「早期発見・早期通報」、「迅速で徹底した防疫措置」で、畜産農家や関係者の防疫対策の強化等が重要です。本町では、消毒液や石灰及び防疫体制強化のチラシや文書も配布し対応しています。



さー建設に地区津波避難タワー五反田

大規模災害発生時の業務継続計画は

町長
今年度、策定予定



倉永豪修 議員

〔問〕 障害基礎年金の受給条件は。

〔答〕 国民年金に加入時に、障害の原因となった病気やケガについて、医師又は歯科医師の診療を受けた日がある事、一定の障害にある事と保険料の納付要件を満たしていることが受給

条件です。

〔問〕 自殺対策改正法及び緊急強化基金とは。

〔答〕 改正法は、地域における自殺対策推進の強化が盛り込まれました。強化基金は、国都

道府県が基金を造成し地域の特性に応じて自殺対策の強化を図る事業で、取り組む市町村の申請により交付される基金の活用は、関係機関及び関係団体との連携強化を図り取り組ん



期待へり
がター
活用タ
にドク
時る
害れ
災さ

でまいります。

〔問〕 大規模災害時の広域受援計画の策定は。

〔答〕 大規模広域災害発生時において、応援要請の集約、配分等の問題点が指摘されてい

ますので、今後、調査検討してまいります。

〔問〕 震災関連死の認定は。

〔答〕 震災時、間接的な原因で死亡すること、遺族の申請により、委託を受けた市町村及び

都道府県が震災との因果関係を審査し認定します。

〔問〕 被災者支援システムの導入は。

〔答〕 被災者支援システムは、住民基本台帳のデータを基に、家屋の情報や被災確認の情報を一元化して管理すること、各種証明書の発行が従来より短時間でできるもので、引き続き導入について調査検討してまいります。

奨学資金制度の見直し、充実は

町長
奨学資金制度は他を参考に研究



三浦千尋 議員

〔問〕 義務教育とその無償化は重要な意義があり国の繁栄の礎であった。今日の課題は都市間、地域間或いは個人

間において所得の偏在が生じ教育を受ける環境に重大な影響があることを懸念する。こんな時期に新たな地域発展、持続可能な社会造りには、奨学資金制度の見直し、充実が時代要請の一つと考える。安倍総理は誰にでもチャ

ンスのある教育を、小泉進次郎氏は教育国債と教育保険制度の必要性等を提案した。先の

の後の進捗を伺います。

〔答〕 国及び県は奨学金返還について新たな支援策を講じると聞いている。その動向や手法等他の市町村を参考にしながら研究したい。

〔問〕 町内誘客に大きく貢献してきた黒木さん宅の芝ざくらの来期の考え方を伺います。

〔答〕 黒木さんの御意向を十分に尊重し対応したい。



町内誘客に大きく貢献してきた黒木さん宅の芝ざくら

〔問〕 命の電話で相談窓口へのコール回数は。

〔答〕 平成27年度、83件、平成28年度、79件。

〔問〕 自殺の因果関係は。

〔答〕 健康、経済、家庭問題と分析している。

〔問〕 自殺に至る主因はうつ病と聞く。大半が訪れる精神科医との連携が極めて大切と思う。日常的な連携を伺う。

〔答〕 直接精神科医との連携、協議会、研究はない。

〔問〕 梅の木ライフとの連携を伺います。

〔答〕 積極的に意見交換を行っている。

新テニスコートの「こけらおとし」を

町長

地元の声を聴きながら計画



阿萬 誠郎 議員

問 今年、新田西テニスコートの改修事業が採択となり、競技する子供達の技術向上や、テニス人口を更に熟成できることが大いに期待されます。

答 毎年3月に大きな大会である新田杯が実行委員会を主体に開催され、県内各地からたくさんの来客があり、アピールするのに良い機会であります。

問 新田支所等の移転について、予め町の絞



新田西テニスコート改修事業を待つ

込みエリアはあるのか、また、本庁に統合されることはないのか伺います。

答 新田コミュニティの中心となる麓周辺を対象に学校等、利便性を考慮し、公民館と支所は一体化したい。

私は、新田支所を本庁に移すことは考えていません。

問 畑地かんがい整備地の目標とする高収益品目への転換等、可能性を追求するための話し合う場、「新富町畑地かんがい営農ビジョン」を提案したい。

答 本町においては、人・農地プランが水田地帯で先行しており、今後、畑地帯の推進と組織を活用し、農地を担い手に集積・集約化するとともに、畑かん営農普及を進めるため、話し合いの場は重要、地域ぐるみで将来を検討していきたい。

基地対策特別委員会

騒音見直し問題は白紙へ

5月1日、防衛省から新田原基地騒音区域縮小問題に関して説明があり、基地周辺の二市三町がその内容を受け入れ、事実上の白紙撤回が決まりました。

この騒音区域見直しは、本町にとつて10年来の懸案でしたが、第一種区域が半減する内容が示されたため、地域が一緒になり、計画見直しを求めてきました。今回の事実上の白紙撤回により仕切り直しとなったことから、これからの対応が大きな課題だと感じているところです。

また、告示後住宅については、今後の課題となりましたので、1年でも早く防音工事対



F 15 戦闘機

文教厚生常任委員会視察報告

文教厚生常任委員会 帯の市です。

7名は東京都福生市教育委員会で行行政調査を行いました。

1. 視察先

東京都福生市

実施日時

平成28年10月3日(月)

福生市は都心から40kmの距離にあり、米空軍横田基地を有する人口約59000人、世帯数が約30000世帯を立ち上げ、【魅力あ



実際にタブレット端末を使った研修

る学校づくりを目指した6つの未来提言」をまとめました。さらに、「ふっさつ子未来会議」

は作業部会を設置して

「平成26年度 魅力あ

る学校づくり6つの計

画等」を策定し、更に

その具現化を図る取り

組みを行っています。

「福生市立学校ICT

推進計画」は平成27年

度以降に策定が必要な

計画の一つとして立案

されたもので、学力向

上を目指したものです。

◎主要な施策を補助す

る為の施策

●教員への支援

●情報モラル教育(児

童・生徒がタブレット

PCの携帯を想定)

●特別支援教育、日本

語学級の情報化(タブ

レット活用導入を検

討)

等があげられます。

(3)タブレットを活用し

た産官学共同研究算数

アプリ「やるKey」

による学力向上策につ

いた「魅力ある学校づくり」を推進するものです。

◎主な施策

●校務の情報化

●教科指導における情

報通信技術の活用(授

業での活用、授業外学

習、家庭学習での活用

英語教育での活用)

●家庭・地域との連携

強化

◎研究目的

家庭学習におけるタ

ブレットを用いた学習

の成果が学力に与える

影響の効果を検証

タブレット端末を活用

した学習システム「や

るKey」を用いた算

数「割り算」「小数」に

関する家庭学習を福生

市の小学校を対象に実

施し、実施前後の学力

調査で効果検証を行う

ものです。

◎研究の成果

児童はiPadによる家

庭学習を行う。(授業

での使用も)

①解答の正誤情報は集

約され、誤答を分析し、

つまづきを解消する教

材を提供する。

※「レコメンド機能」

②児童自身が学習目標

を設定し、取り組むこ

とが出来る。

「目標管理機能」

③担任教師が、児童の

家庭学習状況を確認して、翌日のコーチングの声掛けに活用できる。

「学習履歴管理機能」

タブレットを活用し

た研究で、算数に特化

したことは、3・4年

生での四則演算能力が

後々の学習能力に大き

く影響を及ぼすことを

あげている。

▼所見

今回の調査で、福生

市の教育長を始めとす

る教育委員会のリー

ダーシップの大きさを

強く感じた。また、タ

ブレット端末を活用し

たシステムの活用にあ

る学習効果があること

が理解できた。新富

町においても、その利

用目的を設定して、導

入を検討されることを

期待します。

カ・メ・ラ・探・訪

宮崎県新富町議会だより

■発行責任者／新富町議会議長 長 濱 博

■印刷／あゆみの里



協力して水をバケツリレーした
防災運動会（日置地区）



ぶどう



みやざき犬がやってきた
こゆファーマーズマーケット



▲月下美人
花言葉は「はかない恋」
「あでやかな美人」



消防操法大会で競技に集中する消防団員



3チームに分かれアジャタ【玉入れ】を楽しむ
八幡地区のミニ運動会

まちづくりの話とかあるけど、上新田は忘れられる運命なのか？総て富田地区ばかり。二村合併時の取り決めに、見直してもらいたい。

上新田 H・H

猿ヶ瀬川に注ぐ生活排水パイプが、県の河川改修時に切られ田の排水路と合流し、さらに悪いことに水路勾配が逆なため常時、汚水・汚泥が溜まりっぱなし、造って点検・見直しのない公共事業。「きらり」しかりフットボールセンター等も二の舞に成らなければいいが？

新田 T・K

町民の声
議会に寄せられた
町民の皆様の声です。

編集後記

今回の一般会計補正予算に再編関連訓練移転等交付金が計上されました。町当局・議会が一緒になって要望してきた、再編交付金に代わるものです。今後、十年間、子どもの医療費助成などに引き続き活用されていきます。

貴 行

議会広報特別委員会

委員長	永友 正章
副委員長	大木 俊二
委員	吉田 貴行
〃	丹 邦 敏
〃	阿 萬 誠 郎
〃	

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139